環境技術実証（ETV）事業のご案内

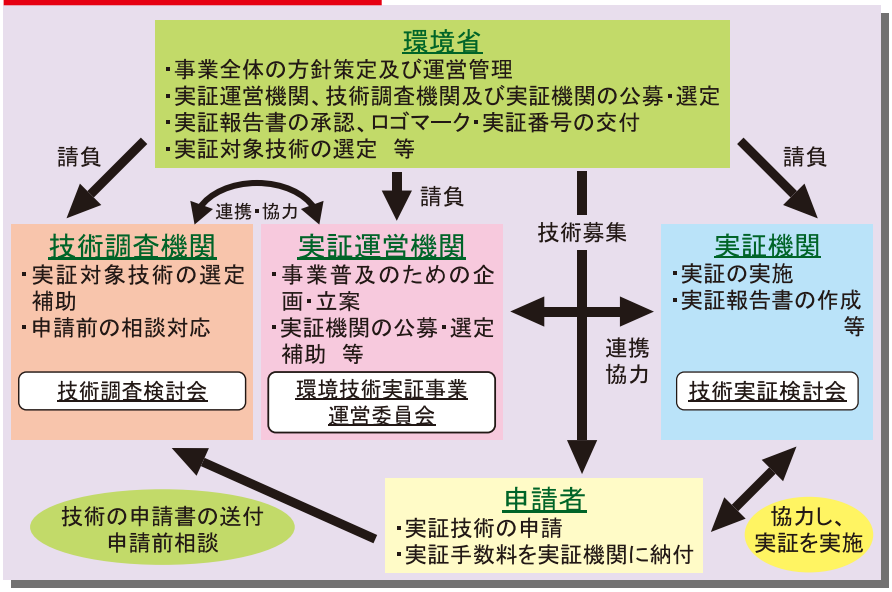
Environmental Technology Verification

環境省

優れた環境技術を普及させるためのお手伝いをいたします。

既に実用化された先進的環境技術の中には、環境保全効果等について客観的立場から示された情報がないために普及が進んでいないものがあります。
環境技術実証（ETV）事業は、そのような環境技術について、開発者でも利用者でもない信頼できる第三者機関（実証機関）が実際の現場等で実証し、その結果を環境省ウェブサイト等で公表、閲覧可能とすることで、環境技術の普及を支援し、環境保全に資することを目的とした事業です。

事業の実施体制は？



実証とは？

実証とは、環境技術の開発者でも利用者でもない**第三者機関**が、環境技術の環境保全効果、副次的な環境影響、その他を試験等に基づき**客観的なデータとして示すこと**をいいます。
一定の判断基準を設けて、この基準に対する適合性を判断する**「認証」**とは異なるものです。

「実証」のメリット

■実証の過程で有識者による検討･審議をします。技術に関する専門的なアドバイスを受けられることもあります。

■実証済み技術には実証番号が付されたロゴマークを交付します。

環境技術
実証事業
ETV 環境省

地球温暖化対策技術分野
中小水力発電技術
実証番号 No.120-1400
第三者機関が実証した性能を
web上で公開しています
http://www.env.go.jp/policy/etv

ロゴマーク一例

ロゴマーク･実証番号は
技術のPRなどに利用可能!

実証内容を
環境省ホームページに掲載!

■実証済み技術の報告書は環境省ウェブサイトに公表され、誰でも閲覧できるようになります。

実証済み技術一覧

【検索フォームの使用方法】

下記の"分野選択"プルダウンメニューからの検索、または"実証番号"検索ボックスへ実証番号を入力していただきますと、掲載ページ位置へジャンプします。

分野選択 130：テーマ自由枠

実証番号 - 検索 入力例：110-1101

環境省 > 総合環境政策 > 環境技術実証事業 > これまでの実証成果 > テーマ自由枠

テーマ自由枠

平成29年度				
実証番号	実証済技術名	申請者	実証結果 [PDF] 概要版	実証結果 [PDF] 詳細版
130-1701	空冷室外機の吸引温度低下による空調負荷低減技術「室外機集団設置用ショートサーキット防止システム Short- circuit Stopper & Sun Shade（略称：サンシェード）」	株式会社 ヤブシタ	一括版 516KB	一括版 4,017KB
130-1702	空冷室外機等の温度低下による空調負荷軽減技術「省エネ設備エコネット」	エコネット鹿児島 株式会社	一括版 722KB	一括版 2,559KB
130-1703	センサーガスクロマトグラフ ODSA-P3	NISSHAエフアイエス株式会社	一括版 260KB	一括版 1,779KBKB

■環境技術実証はISO14034として国際標準化されており、<u>我が国の環境技術実証事業はISO14034に整合しております。</u>また、我が国以外の国々（米国、カナダ、ポーランド、デンマーク、フランス、英国、フィリピン、韓国、中国、インドネシア、マレーシア）においても環境技術実証は行われています。

実証技術の導入事例

環境技術実証事業で実証された環境技術が、多くの企業・地方自治体等で活用されております。導入事例は広報用冊子及び環境省ウェブサイトからご確認いただけます。
（http://www.env.go.jp/policy/etv/episode/index.html）

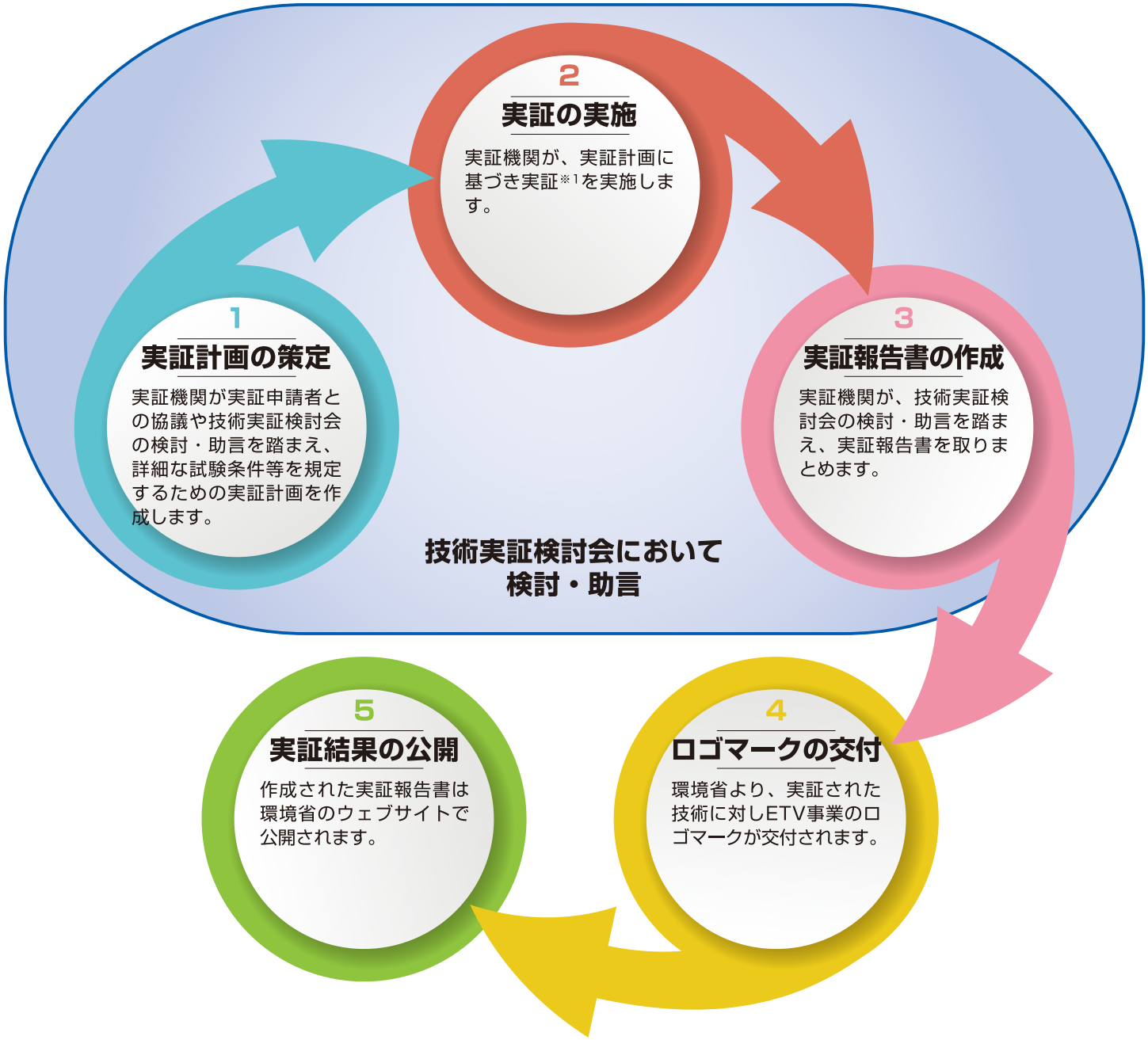
クロスフロー水車

循環式し尿処理槽

高濃度油分含有排水処理技術

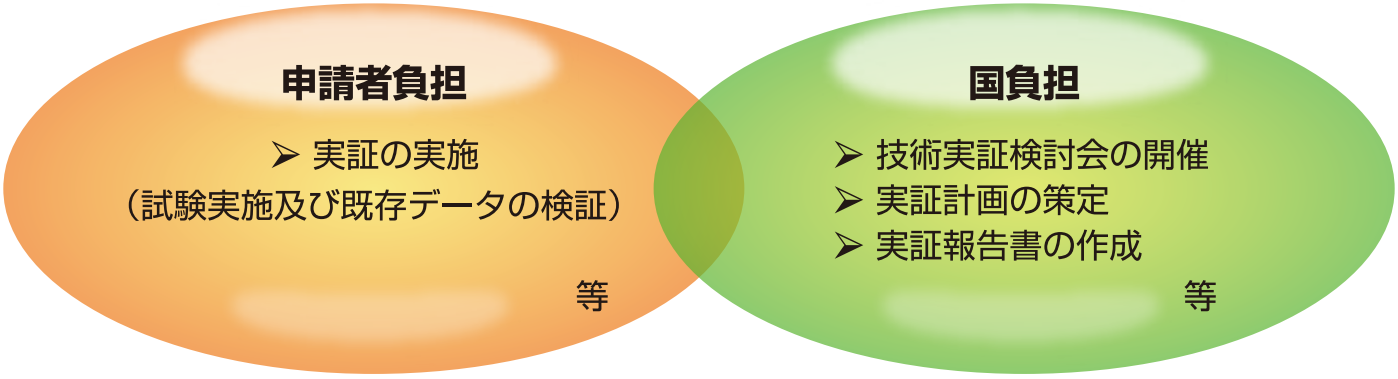
環境配慮型撹拌装置

「実証」に係る一連の流れ



※1　妥当性が確認された既存データを活用し、実証を実施することができます。
既存データを活用した実証では実証に要する費用を軽減できます。

費用の分担※2



※2　申請者の負担は、原則として、実証の実施に係る実費としておりますが、
技術実証検討会に出席の際の交通費等の費用が発生することがあります。

6つの技術領域における環境技術例

水・土壌環境保全技術領域
水質汚染対策技術
土壌汚染対策・浄化技術
等

大気環境保全技術領域
大気汚染対策技術
（排ガス、ダイオキシン類、有害物質等）
生活環境保全技術
（騒音・振動防止、光害対策、悪臭対策、大気排熱抑制）
等

資源循環技術領域
リサイクルに関する技術
等

気候変動対策技術領域
気候変動対策技術
等

自然環境保全技術領域
生物多様性確保技術
外来種対策技術
等

環境測定技術領域
環境測定技術
等

「令和2年度環境研究技術実証事業」に係る公募スケジュール

実証対象事業の公募
6つの実証技術領域に対して実証対象技術の募集を行います。公募の内容は環境省HP及びETV事業HPよりご確認いただけます。
（令和元年10～11月頃）

実証対象技術の選定
技術調査検討会にて実証対象技術を審査し、環境省が実証対象技術を選定します。
（令和元年12月～令和2年1月頃）

実証機関の公募
実証対象技術を実証する実証機関を公募します。
（令和2年2月～3月頃）

実証機関の選定
実証運営委員会にて実証機関の審査を行い、実証機関を選定します。
（令和2年3月頃）

問い合わせ先

技術の申請方法、実証可能性、費用等のご相談

令和元年度環境技術実証事業 技術調査機関
（一社）産業環境管理協会 国際協力･技術センター
メール: tech-etv@jemai.or.jp
住　所: 東京都千代田区鍛冶町2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル
電話番号: 03-5209-7707

「環境技術実証事業」全般に関する問い合わせ先

環境省大臣官房総合政策課　環境研究技術室
メール: etv@env.go.jp
住　所: 東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎5号館
電話番号: 03-5521-8239（直通）

詳しくは **WEB** で!!

環境技術実証事業　検索

http://www.env.go.jp/policy/etv/

令和元年5月